

株主の皆さまには、平素より
格別のご高配を賜り、
厚く御礼申しあげます。
ここに、第84期
株主通信 2020年冬号を
お届けいたします。



2020年度上期の当社グループの業績は、売上高3,013億円(前年同期比8.8%減)、営業利益247億円(同3.9%減)となりました。新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)が世界経済に与える影響もあり、減収減益となりましたが、制御機器事業で5G関連向けの設備投資拡大などデジタル関連需要の増加を捉えるとともに、ヘルスケア事業でコロナ禍における血圧計や体温計の需要増を的確に捉えるなどして売上の減少幅を抑えました。また付加価値の高い商品・サービスの提供などにより、当社の稼ぐ力を表す売上総利益率を前年から0.2P向上させました。さらに、固定費の慎重な運営を計画通り実行した結果、営業利益は為替影響を除くと増益となりました。

下期の事業環境は、コロナの再拡大や米中貿易摩擦の激化などにより、総じて厳しい状況が継続すると見ています。その中でも、中国のように早期に景気が回復したエリアや、電子部品や5G関連のように活況を呈している業界があります。このようなまだら模様の事業環境の中で、当社は事業機会を創出し、積極的に売上を拡大していきます。例えば、ヘルスケア事業における血圧計事業です。オムロンは、ブラジルやインドなどの新興国において、早くから家庭用血圧計の普及に取り組んできました。その実績を強みに、血圧計市場での成長を実現していきます。また、コロナ禍での健康管理に対する意識の高まりを受け、グローバルでニーズが加速している遠隔診療サービスの取り組みも強化します。

これらの事業環境認識と上期の業績を踏まえ、通期見通しは売上、営業利益ともに上方修正を行いました。下期も、計画通りに固定費の削減をやり切った上で、来期以降も見据えた追加投資を厳選して実行します。配当につきましては、中間配当は42円とし、年間配当予想は計画どおり84円としました。

オムロンは、不透明な中においても成長できるエリア・業界を見極め、そこから生まれるニーズを着実に捉え、持続的な成長を実現していきます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月
代表取締役社長 CEO

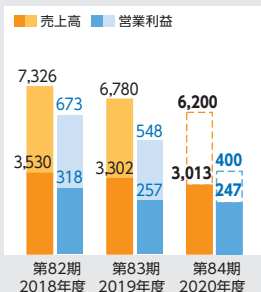
山田義仁

第84期(2020年度) 第2四半期決算ハイライト(連結累計)

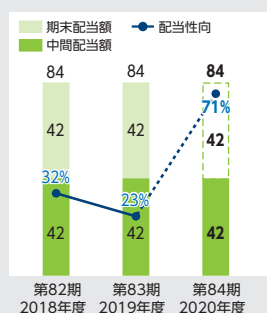
	実績	前年同期比
売上高	3,013 億円	△ 8.8 %
営業利益	247 億円	△ 3.9 %
売上高営業利益率	8.2 %	+ 0.4 P
継続事業 税引前四半期純利益	263 億円	△ 4.2 %
当社株主に帰属する 四半期純利益	192 億円	+ 0.6 %*
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	95.16 円	+ 2.24 円*

(注) *前年同期比算定に使用した前年同期実績には、非継続事業(2019年10月に譲渡した車載事業)を含めています。

売上高および営業利益 (億円)
(第2四半期累計および通期)



配当および配当性向 (円)



(注) 第82期および第83期の売上高、営業利益は、非継続事業を除いています。

第84期(2020年度) 通期の見通し(連結)

		前期比
売上高	6,200 億円	△ 8.6 %
営業利益	400 億円	△ 27.0 %
売上高営業利益率	6.5 %	△ 1.6 P
継続事業 税引前当期純利益	350 億円	△ 32.5 %
当社株主に帰属する 当期純利益	240 億円	△ 68.0 %*
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	118.99 円	△ 246.27 円*

(注1) 上記は、2020年10月29日決算発表時点で入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しです。

(注2) *前期比算定に使用した前期実績には、非継続事業を含めています。

ニューノーマルにおけるモノづくり革新を加速する新製品とソリューション

オムロンはウィズコロナ・アフターコロナの世界において、持続的な都市活動や社会活動を確保するための現場を支えることが、長年にわたりモノづくりの源流に携わってきた企業としての社会的責任と考えています。制御機器事業では、コロナショックがもたらした生産現場の新たな課題を解決する革新的な商品を次々に発売しています。

目視に頼る外観検査を自動化する

「AI搭載画像処理システム」

オムロンは、コロナ禍のモノづくり革新を加速するソリューションとして、2020年6月に「欠陥抽出AI搭載画像処理システム」を発売しました。30年以上にわたり外観検査の現場で培った知見を活かし、AIの専門知識を持たないエンジニアでも、わずか十枚程度の画像を学習させるだけで、高い検査性能を発揮することを可能にしました。「人の感性」や「熟練者の経験」を再現するAI技術を画像処理システムに搭載することで、これまで機械では検出困難だった欠陥をスキルレスに検出することが可能になりました。これにより目視に頼っていた外観検査の自動化に大きく貢献します。



単調で危険な作業を自動化する

「自動搬送モバイルロボット」

同年7月には世界最重量級^{*1}の1.5tまで搬送可能な「自動搬送モバイルロボット」を発売しました。フォークリフトなどで搬送していた大型の自動車部品や、体積の大きいパレット搭載物といった重量物の搬送を、安全に自動化することが可能です。製造現場での省人化ニーズがさらに高まるなか、250kgまで搬送可能な既存のオムロンの搬送ロボットシリーズと組み合わせることで、材料から部品、仕掛品、完成品に至るまで様々な領域のシームレスな搬送の自動化が可能になります。人にとっ

て単調で危険な作業を自動化し、より柔軟で最適な自律搬送を実現します。



バーチャル(仮想化)環境でモノづくりを実現する

「ロボット統合コントローラー」

従来からのモノづくりのニーズである多品種少量生産や生産設備の急峻な立ち上げ、熟練技能者の不足を解決するとともに、モノづくりのデジタルトランスフォーメーション(DX)化に貢献するのが「ロボット統合コントローラー」です。

ロボット統合コントローラーは、従来、別々のコントローラーとソフトウェアが必要だったロボットと制御機器をひとつのコントローラーで制御できる世界初^{*2}のコントローラーです。設備を構成するセンサーから、モーション、ロボット、そしてセーフティ等、自動化に必要な機器「ILOR+S^{*3}」をOneコントローラーで統合することで、ロボットと周辺機器をリアルタイムに完全同期した制御が可能となります。これにより、検査や組立などの高度で複雑な作業もロボットで自動化することができます。これは、ILOR+Sの機器群を全て持つオムロンだからこそ提供できる価値です。さらに、従来異なっていたロボットとマシン制御のプログラミング言語の統一をOneソフトウェアで可能としたことで、生産設備の設計や変更のシミュレーション、リモートによる設備の立ち上げや保守、メンテナンスなどをバーチャル環境で実現できます。

これらのソリューションにより、これまで人に頼りしかなかった作業の自動化や、リモート型のエンジニアリングスタイルなどを“i-Automation!”^{*4}で実現します。制御機器事業は、ニューノーマルな世界において求められるモノづくり革新に取り組んでまいります。



- ※1 世界最重量級:2020年7月時点(自律型搬送ロボットカタログ値比較/当社調べ)
- ※2 世界初:2019年11月特許申請・登録状況より当社調べ
- ※3 ILOR+S:Input(センサーなどの入力機器)、Logic(コントローラーなどのコントロール機器)、Output(モーターなどの出力機器)、Robot(ロボット)、Safety(設備の安全を担保する安全機器)
- ※4 “i-Automation!”:3つの「i」、「integrated(制御進化)」、「intelligent(知能化)」、「interactive(人と機械の新しい協調)」からなる、生産現場の革新に取り組む戦略コンセプトの呼称

◆株主優待制度廃止のご案内と寄付金のご報告

当社では、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、2013年度に株主優待制度を導入いたしました。また同時に、株主還元方針に基づいた安定的かつ継続的な配当と機動的な自己株式の取得の実施など、株主還元策を総合的に展開し、充実させてまいりました。

株主還元全般が充実してきたことを鑑みて、2020年7月28日のニュースリリースで発表いたしました通り、2020年3月31日現在の当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主さまへの贈呈(2020年5月22日ご案内発送分)をもちまして、株主優待制度を廃止させていただきました。

なお、これまで株主優待を通して賜りました寄付金の総額は3,535万円となりました。多くの株主さまからの温かいご芳志に、改めまして心より御礼を申し上げます。

■ 社会福祉法人 太陽の家への寄付金
[2013~2017年]: 1,510万円

■ 京都大学 iPS細胞研究基金への寄付金
[2018~2020年]: 2,025万円

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主 期末配当金 3月31日

確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人

および特別口座 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

(電話照会先) **0120-232-711** オペレーター対応
(9:00 ~ 17:00 土・日・祝日を除く)

上場証券取引所 東証第一部

証券コード 6645

株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

▼
口座を開設されている証券会社へ
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

▼
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部まで
お問い合わせください。
電話照会先は上記をご参照ください。